

地域再生人材創出拠点の形成

あきたアーバンマイン技術者養成プログラム

(実施期間：平成20年度採択～平成24年度)

地域再生人材創出拠点の形成プログラムとは？

本プログラムは、大学等が有する個性・特色を活かし、将来的な地域産業の活性化や地域の社会ニーズの解決に向け、これらに貢献し得る人材の育成を行うことを目的としています。地域の大学が地元の自治体との連携により「地域の知の拠点」を形成し、地方分散型の多様な人材を創出するシステムの構築を推進していくものです。

秋田大学は、「あきたアーバンマイン技術者養成プログラム」という課題で、応募数52件の提案から13件の優れた取り組みの一つとして採択されました。

プログラムの概要

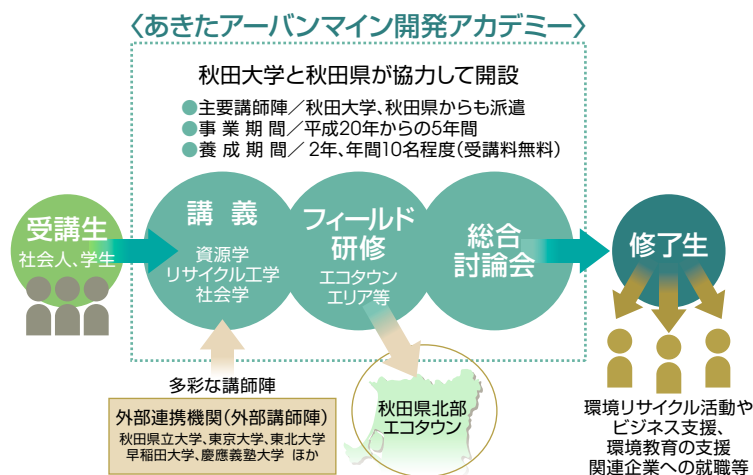
まもなく100周年を迎える工学資源学部は、創立以来現在に至るまで、天然資源並びに都市鉱山から有用な資源を回収するための研究開発を継続している知の拠点です。

一方秋田県は、県北部地域においてエコタウン計画を推進する等、環境リサイクル産業の振興を図ってきており、これらを一層進展させるには、新たな環境リサイクル技術の開発やリサイクルネットワークの構築などを支援できる人材の育成が重要となっています。

このような背景から、秋田大学と秋田県は密接に連携し、さらには県内外の有識者や企業・自治体の協力を受けながら、本プログラムの主要事業として、「あきたアーバンマイン開発アカデミー」を創設し、エネルギー工学を含む資源学を始点に、有用金属の選別・生産技術やリサイクリング技術、バイオマスエネルギーの利用等の化学関連技術、そして県内の情勢を含めた環境学や社会学、経済学などについて講義を行い、環境・リサイクル産業を理解し利用技術に展開することを目的とした、人材養成を行っています。



リサイクル技術に関する実習



〈概要〉

- (1) 受講生の養成期間：2年間
- (2) 受講生：10名／年程度
企業等における技術者、行政担当者、教職者、市民団体関係者等秋田県在住者、大学生および大学院生
- (3) プログラム構成：
毎月1回土曜日に集中講義、フィールド研修、総合討論会
- (4) 講師陣：
秋田大学、秋田県、秋田県立大学、(財)秋田県資源技術開発機構、DOWAグループ等エコタウン内の企業、東北経済産業局、北海道大学、東北大学、東京大学、早稲田大学、慶應義塾大学、北九州市立大学、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)等
- (5) 受講料、研修費：無料

あきたアーバンマイン開発アカデミーの教育目標

アカデミーにおいては、以下の知識や能力が受講生の身につくように教育体制を整備しています。

- (1) 環境・リサイクル産業に関わる、工学的基礎知識と設計・解析・評価に関する能力。
- (2) 環境・リサイクル産業に関わる、プロセッシングないし利用技術に関する設計・評価能力。
- (3) 環境・リサイクル産業に関わる、環境影響や環境アセスメントなどに関する知識と評価能力。
- (4) 環境学、社会学、経済学、技術者倫理などについて、地球的視野にたつて、また市民的公共性をもって理解する能力。
- (5) 秋田県内における環境・リサイクル産業に関わる課題について理解して、具体的解法を提案できる能力。
- (6) 技術開発や共同研究テーマの発掘、リサイクル産業への支援、リサイクル・ビジネス振興、環境教育・学習事業への協力などについて方策を提案できる能力。